

科目	保健体育科教育法Ⅱ	担当	高須 博	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

学校体育における教育の目指す方向は、生徒一人一人が自己の能力や適性に応じて生涯を通じてスポーツに親しむ資質や能力を育成するとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てることにある。この目標を達成するためには体力の低下、運動の二極化傾向及び生活習慣の乱れ等の現状を踏まえ、これらの問題の解決に向け、体育の授業改革への期待は大きく、体育教師の力量がますます問われている。そこで、体育科教育法Ⅰを踏まえ、さらにスポーツの楽しさを授業で味わわせ、生涯スポーツへとつながる授業のあり方を運動種目ごとに追求させることを目指す。

【履修注意】

体育の授業作り及び指導法の学習であるので、常に子どもの側に立った考えで授業に臨むようにする。全出席すること。1/3以上の欠席は単位を認めない。(遅刻2回は、欠席1回とする)
本科目は教職課程(保健体育)の必修科目であり、教職課程を目指す者のみ必修である。

【評価方法】

試験、授業レポート及び実技の内容によって評価する。

【試験について】

筆記試験及び実技(第二ラジオ体操)試験を行う。

再試験対象者の条件: 不合格者のうち、課題レポートがすべて提出され、筆記試験が40点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針である。2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要である。その内容を講義の都度指示するので、次の講義に提出する。

【教科書】

書籍名: 教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」 著者: 杉山・高橋・園山 出版社: 大修館
中学校学習指導要領解説 保健体育編 著者: 文科省 出版社: 東山書房

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	教育法のねらいと履修上の注意
2	保健体育科と生きる力	生きる力と保健体育科の目標
3	保健体育科の教師	授業を始める前の準備と授業の評価
4	実技	第二ラジオ体操と集団行動の習得
5	実技	第二ラジオ体操と集団行動の習得操、発表会
6	授業の展開方法 1	授業の展開(子供が求める授業)の方法
7	授業の展開方法 2	学習集団についての理解 個を生かす授業
8	「体づくり運動」の学習内容	体力と体づくり運動についての理解と指導法 他領域との関連
9	「器械運動」の学習内容 1	マット運動・鉄棒運動の学習内容と指導法
10	「器械運動」の学習内容 2	跳び箱運動・平均台運動の学習内容と指導法
11	「陸上競技」の学習内容 1	短距離走とリレー、ハードル走、投てき種目の学習内容と指導法・陸上競技のウォーミングアップの考案と発表(個々)
12	「陸上競技」の学習内容 2	長距離走と跳躍種目の学習内容と指導法・競技会の運営・陸上競技のウォーミングアップの考案と発表(個々)
13	「水泳」の学習内容	水泳の4泳法の学習内容と指導法・水泳に関する安全
14	「球技」の学習内容 1	ゴール型球技の学習内容と指導法
15	「球技」の学習内容 2	ネット型及びベースボール型球技の学習内容と指導法
16	まとめ・期末試験	15コマの復習・確認・総まとめと試験の実施